

北海道議会時報

第35巻第1号

昭和57年第4回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第35巻第1号(昭和57年第4回定例会)

(表紙写真説明)

恵庭岳側から支笏湖・樽前山を望む

第4回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	10
会議案・意見案	12
請 願・陳 情	16

委員会 の 動 き

議会運営委員会	21
常 任 委 員 会	26
特 別 委 員 会	32

総合開発調査特別委員会
北方領土対策特別委員会
公害対策特別委員会
予算特別委員会

資 料

第4回定例会において議決を経た 条例の公布調	39
---------------------------	----

12月のメモ

議 会 日 誌

▶12月

- 1日(水) 厚生委員会
 3日(金) 議会運営委員会
 9日(木) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
 10日(金) (第4回定例会開会)
 議会運営委員会
 本会議(会期決定<12日>,提案説明)
 14日(火) 議会運営委員会
 本会議(代表質問<1人>)
 15日(水) 議会運営委員会
 本会議(日程延期)
 16日(木) 議会運営、総務各委員会
 本会議(代表質問<3人>、一般質問<1人>)
 17日(金) 議会運営委員会
 本会議(一般質問<1人>)
 18日(土) 議会運営委員会
 本会議(一般質問<2人>)
 20日(月) 議会運営委員会

本会議(一般質問<1人>)

21日(火) 議会運営委員会

本会議(一般質問<4人>、予算・決算各特別委員会設置、会期延長<3日間>) 予算・決算各特別委員会(正副委員長の互選) 予算第1・第2各分科会(正副委員長の互選)

22日(水) } 予算1・2各分科会(各部所管審査)
 23日(木) }

24日(金) 議会運営、各常任、公害対策特別、決算特別各委員会、予算第1分科会(各部所管審査) 予算特別委員会(総括質疑、意見調整)

本会議(会期延長<1日間>)

25日(土) 議会運営、総務各委員会

本会議(各委員長報告、会議案並びに修正案否決、議案等可決、取用委員会予備委員の選任同意、意見案5件可決、請願・陳情審査)

(第4回定例会閉会)

第4回定例会

道議会議員の定数改正に係る条例案を可決

▶人事委勧告の取扱い等をめぐり論議◀

概 要

- ① 第4回定例会は、12月10日招集され、会期を12月21日までの12日間と決定の後、総額356億5,800万円余の補正予算など議案25件及び昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算など報告案件5件が上程され、知事から提案説明。次に、議案調査のため12月11日から13日まで3日間休会した。
- ② 休会明けの12月14日から代表質問に入り、16日にこれを終え、同日、「北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案」が提出され、知事から提案説明があって、一般質問に入った。
21日には一般質問を終結し、予算及び決算両特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行った。次いで、会期を12月24日まで3日間延長することに決定の後、各委員会付託議案審査のため22日から23日まで休会した。
- ③ 予算特別委員会は、12月21日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、翌22日から57年度補正予算に対する各部所管審査に入り、24日に質疑を終結。同日、各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、これを終結して、直ちに意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず社会及び共産両党により昭和57年度一般会計補正予算に対する修正案が提出され、採決の結果、これを否決し、原案のとおり可決した。
- ④ 12月24日の本会議は、あらかじめ会議時間を延長の上、夜に至り本会議を再開し、総務委員会で審査中の道議会議員の定数改正に係わる条例案の審議の都合により、会期を再度25日まで1日間延長の上、午前零時5分に繰り上げ開議することに決定した。
- ⑤ 会期最終日の12月25日は、まず、補正予算に対する予算特別委員長報告及び各委員長報告の後、社会及び共産両党共同による57年度一般会計補正予算に対する修正案について、趣旨説明、討論、採決の結果、これを否決し、原案を可決。
次に、各委員会付託議案について、採決の結果いずれも委員長報告のとおり原案可決。次に、知事提案に係る道議会議員の定数改正に関する条例案について、総務委員長報告の後、24日に社会党から提出された道議会議員の定数改正に関する条例案の趣旨説明があって、討論、採決の結果、これを否決し、知事提案を原案可決した。次に、収用委員会予備委員の選任同意案件を原案のとおり同意議決、次いで、「国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見案」ほか4意見案を可決の後、請願・陳情9件について、委員会決定のとおり、いずれも採択。次いで、報告第1号（昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する）の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来16日目の12月25日午前2時29分閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出案件	処 理 の 状 況					
		原案可決	否 決	同意議決	継続審査	報告のみ	計
知 事	32	26	0	1	1	4	32
議 員	7	5	2	—	—	—	7
計	39	31	2	1	1	4	39

本 会 議

○12月10日（金） 午前10時9分開議、松浦義信議長、昭和57年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今定例会の会期を、本日から12月21日までの12日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第25号及び報告第1号を議題とし、知事から提出案件に関する説明。次いで、議案調査のため、12月11日から12月13日まで休会することに決定して、午前10時26分散会。

○12月14日（火） 午前10時16分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、

吉野 之雄議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、主体性ある道政執行への疑問
- ② 赤字ローカル線廃止問題に関し、国鉄再建法と地域振興関係法との関連、地方交通線の廃止と開発計画との関連、第2次線に関する知事意見提出に当たっての決意、第2次線対策に当たっての関係機関・団体との連携のとり方
- ③ 当面する経済・雇用及び人勸問題に関し、景気落ち込みの原因、道内における失業動向に対する認識と対策、高齢者及び身障者の雇用率未達成企業への取り組み、高卒者の就職内定率が低い現状に対する見解及び道内就職の機会拡大策、人勸見送りについての自治省の姿勢と知事の理解、地方自治介入及び人事委制度否定につながる自治省通達についての所見、人事委勧告の当事者としての態度、明年度における民間設備投資の見通し、給与改定を見送った場合の本道経済に及ぼす影響、景気浮揚の具体策、給与改定に関しての知事の決意、明年度の財政規模等についての見解、財政構造についての見解、補正予算案に係る

国と自治体との関連

- ④ 農・林業問題に関し、農業生産と農家経済についての現状と動向に対する認識、農家経済を厳しくしている要因と好転期間についての考え、農家の負債対策と経営改善方策、本道農業ビジョンについての所見、林業労働者の実態に対する認識と冬期間に仕事を確保することについての具体策、振動障害の予防及び治療対策、林業労働災害の防止対策
- ⑤ 地域・保健医療問題に関し、今後における結核医療計画についての考え、夕張市立病院の今後の運営についての取り組み、札幌医大の医師養成システム確立への取り組みと課題、ドクターバンクによる地域医療の確保策、老人保健法施行に伴う保健所機能の充実整備方策及び関係職員の確保策、道の老人医療給付特別対策事業改定に当たって関係団体からの意見聴取の有無、老人の生活実態把握と一部負担導入の関連、道単独事業による老保法の一部負担の無料化についての見解、一部負担金と老人療養資金との関連、福祉灯油の給付制度化についての見解、福祉灯油についての国への働きかけ
- ⑥ 教育問題に関し、58年度公立高校適正配置計画策定の根拠、新設校の間口減及び臨時応急的な学級増に対する見解、教育条件整備についての配慮、歴史学習の指導についての道教委通達と従来の姿勢との整合性、歴史学習以外の教材に対する見解を示す考え、教科書検定について文部省への意見具申の経緯、教科書小委員会の協議内容に対する見解、主任手当の予算措置に対する見解
- ⑦ 公安問題に関し、人事院勧告・仲裁裁定に係り、憲法第28条に対する認識及び警察行政上の基本的姿勢、公務員労組によるストライキに対する捜査活動についての見解、ゲーム機賭博事件に関連し警察の適正な業務運営の必要性、ゲーム機賭博の検挙状況と今後の対策、薄野歓楽街における違法駐車の見解と対策について

質問があり、知事、人事委員長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後 零時26分休憩、午後 2時22分再開し、吉野之雄議員（社会）から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言

が、あって、議事進行の都合により午後2時43分休憩、午後4時37分再開し直ちに延会。

○12月15日（火） 午前11時7分開議、諸般の報告の後

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、知事、人事委員長、教育長及び警察本部長から12月14日の本会議における吉野之雄議員（社会）の再質問に対する答弁の後、吉野議員から再再質問、知事から答弁調整のため時間を要する旨発言が、あって、議事進行の都合により午前11時48分休憩。午後4時20分再開し、知事及び人事委員長から答弁が、あって午後4時30分延会。

○12月16日（木） 午前10時16分開議、諸般の報告の後

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、

高木 繁光議員（自民）から、

- ① 道内経済の動向と道財政の見通しに関し、本道経済の実態についての認識と国への対応、素材型工業の不況対策の経過と今後の見通し、中小企業の不況に対する具体策、道財政の現状と見通し、58年度道財政の見通しと骨格予算における景気対策費計上の必要性
- ② 国鉄地方交通線の廃止問題に関し、国鉄2次線凍結に向けて国への積極的要請の必要性
- ③ 農業問題に関し、北海道農業対策室の役割に対する期待、第3期の転作面積についての基本的考え及び具体策、農業先端技術開発についての所見、地域土地改良長期計画策定に当たっての取り組み
- ④ 道政上の当面する諸課題に関し、お年寄りに対する風潮についての知事の考え及び親子同居を促進するための方策、老人保健法施行に伴う実施体制の整備に係わり、道と市町村との役割・連携及び整備目標計画策定についての考え方、国際漁業問題に係わり、厳しい国際環境に対する認識と対応策、韓国漁船操業についての漁業水域法適用実現に向けての決意、最高裁の判決を踏まえた庁舎内におけるポスター等掲示に対する対処策、酒気帯び運転に対し厳罰で臨むことについての所見、

- ⑤ 教育問題に関し、青少年層の好ましくない風潮に対する認識及び学校教育の役割、道徳教育の実態に対する認識と充実策、教育界の実態に対する認識、高校入学者選抜に当たっての面接導入の検討方について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後零時18分休憩、午後2時16分再開。次いで、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 景気対策に関し、道内経済の現状と景気動向に対する認識、明年度の公共事業確保についての見通し、明年度の道当初予算編成に当たって公共事業予算計上の考え、今後における各種金融対策、中小企業倒産防止についての今後の取り組み、零細企業の金融円滑化についての対処策、小口特別資金の融資限度額引き上げの検討方、新規高卒者の求人確保の見通しと対処策、心身障害者及び高齢者の雇用の現状と今後の雇用対策、季節労働者の冬期就労機会の確保策
- ② 福祉・医療対策に関し、痴呆性老人対策の基本的考え方、痴呆性老人の実態把握についての取り組みの現状と専門的なプロジェクトチームによる取り組みの必要性、保健所のがん検診体制の整備についての考え
- ③ 交通問題に関し、本道の高速道路の整備促進についての基本的考え方、青函トンネル開通に伴う函館と道央を結ぶ高速道路整備計画について

質問があり、知事から答弁。柳谷正一議員（公明）から再質問があり、知事から答弁。次いで、

伊藤 豪議員（道政）から、

- ① 景気対策に関し、鉄鋼・紙パルプ産業の不振が本道経済に及ぼした影響、不況関係4法の延期及び改正についての取り組み、特定不況地域中小企業対策の推進
- ② 国鉄地方交通線問題に関し、国鉄が第2次廃止対象路線を急いで選定した状況に対する見解、道内各線の経営収支の積算内訳等廃止理由を明らかにするための国鉄への働きかけ、全国画一の基準で進めようとしていることに対する国への働きかけ
- ③ 老人保健法の施行に関し、本庁機構の整備に対する所見

(4) 精神障害者対策に関し、道発展計画による精神障害者社会復帰施設の整備状況、北海道地方精神衛生審議会の審議の見通しを含め施設整備の将来計画、職親制度の実施地域拡大に対する考え

(5) 地方公務員の給与と定年制に関し、道独自の給与改定の可能性及びこれに関連して生ずる問題点、市町村独自の改定に対する道の指導等、特別昇給についての検討状況、道職員定年制の条例提案の時期、定年制度施行後における勧奨退職に対する所見、役職任命がえにおける年齢についての検討の必要性

(6) 石炭問題に関し、夕張新炭鉱再開発についての国の基本方針変更の有無、未払い労務債の支払見通しと北炭グループの処分資産の内容、年末に向けての夕張地区商工業者等への金融対策、幌内炭鉱の資金見通し

(7) 全天候多目的スタジアムの建設に関し、知事任期中における建設基本構想の取りまとめの必要性

(8) 北方領土問題に関し、国連訪問の体験を踏まえ今後における返還運動についての所見、啓発のためのキャンプ場設置についての考えについて

質問があり、知事から答弁。

次いで、日程第1の議事を中止し、

追加日程 議案第26号を直ちに議題とし、知事から提案説明があり、午後4時1分休憩。午後4時26分再開し、

日程第1にあわせ、追加日程を一括議題とし、質疑並びに一般質問に入り、

吉川 貴盛議員（自民）から、

(1) 農業行政に関し、都市近郊における野菜生産振興の必要性、タマネギの価格安定についての見解、自然農法についての見解及び実態調査の検討方

(2) 教育問題に関し、推薦入学者の入学後の学校生活の状況、推薦枠の拡大に対する見解、生徒指導に係る学校の指導体制の確立について

質問があり、知事及び教育長から答弁。午後4時52分延会。

○12月17日（金） 午前10時31分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号を議題とし、**一般質問**を継続、

舟山 広治議員（社会）から、

(1) 開発計画と過疎問題に関し、本道の過疎市町村率が高くなった原因、地域の均衡ある発展を掲げた知事公約の達成に対する認識、地域間格差の解消のための具体策、過疎地域振興対策の行政効果及び発展計画の弾力的運用とその結果、産業構造高度化政策の地域政策における具体的位置づけ

(2) 道議会議員の定数条例に関し、総定数についての議会の意見の受けとめ方と減数した理由、公選法271条第2項及び15条7項但書の規定の解釈と適用の理由、政令指定都市としての札幌市の定数配分の基本的考え方等について

質問があり、知事から答弁、舟山広治議員（社会）から再質問、知事から答弁調整のため時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前11時21分休憩、午後4時35分再開。知事から休憩前の舟山議員の再質問に対する答弁があって午後4時45分延会。

○12月18日（土） 午前10時50分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号を議題とし、**一般質問**を継続、舟山広治議員（社会）から再再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、議事進行の都合により午前11時2分休憩、午後2時12分再開。知事から休憩前の舟山議員の再再質問に対する答弁、会議規則第57条但書の規定による発言許可後、舟山議員から意見があり、次いで

伊藤 弘議員（自民）から、

(1) 道産品の販路拡大対策に関し、優良道産品推奨制度の効果的活用、水産加工食品の活路開拓実験事業の成果と他の道産品にも拡大する考え、道産品の「大バザール展」を道外で開催することについての検討方

(2) 大型店の出店問題に関し、大手企業等の小売商調対対象外店舗の進出に対する調整指導の考え方等について

質問があり、知事から答弁。次に、

長岡 寅雄議員（社会）から、

- ① 人事委員会勧告の取り扱いに関し、国の入
勸見送り方針に対する見解、勧告の完全実施
について国への要請の有無と国会の動き等情
報の把握と分析、入勸凍結に伴う自治事務次
官通達の受けとめ方
- ② 社会保険行政に関し、社会保険に係る事務
と職員の身分移管について 国への働きか
け、臨調における国一元化について検討して
いる状況と対処策
- ② 花卉の生産と振興策に関し、本道における
花卉生産の実績と消費の現状及び本州からの
移入状況、今後の振興方策、試験研究・指導
機関の充実、市場の整備等消流対策
- ③ 家畜保健衛生所の拡充に関し、家畜保健衛
生所の要員、施設整備の現況把握と体制の十
分性、家畜保健衛生所職員の確保の見通し等
について

質問があり、知事から答弁、長岡寅雄議員（社会）か
ら再質問及び再再質問があり、知事から答弁があって
午後3時43分延会。

○12月20日（月） 午後2時10分開議、諸般の報
告の後、

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告
第1号を議題とし、一般質問を継続、

岩崎 守男議員（社会）から、

- ① 漁業問題に関し、漁船漁業の再編整備に当
たつての生産体制等将来展望に対する見解、
再編整備に伴う減船が漁業者負担に与える影
響に対する認識、漁業者の負担軽減について
の見解、漁業権切りかえにおける資源の適正
管理・配分についての地元意見反映の考え及
び複数漁業権配分についての見解
- ② 防災行政に関し、浦河沖地震の防災経験の
教訓を生かした防災意識の高揚等の対策、火
災予防の重要性と対策についての認識、広域
消防事務組合の地域の実態に応じた編成整備
の考え、消防自動車等の価格実態の把握状況、
国の救急車利用有料化の動きに対する見解
- ③ 交通行政に関し、運転免許制度の役割に対
する考え、運転免許取得の需要増大に対応し
た教習と監督行政の対処状況、指定校の役割
と資質に対する見解及び学校間の格差是正に

対する指導監督の状況、初心者事故抑制及
び運転教育機関の資質向上の必要性、指定校
卒業者の死亡事故発生率が高い状況に対する
見解と対処策、指定校と教習所の合格率に格
差がある状況及び指定校に警察退職者が再就
職することによる教習・検定等への影響、自
動二輪車の事故増加傾向に対応する指定校・
公安委員会の対処についての考え、高校生に
対する自動車学校の優遇措置等の実態の把握
状況及び対処、自動車学校の高校内における
受講生獲得行為に対する見解、高校生の自動
二輪車運転に対する規制等指導方針の考えと
妥当性及び免許取得等に対する規制を解除し
安全運転教育を徹底させる考えについて

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。
岩崎守男議員（社会）から再質問。知事から答弁調整
に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により
午後3時5分休憩、午後4時34分再開。知事及び警
察本部長から休憩前の岩崎議員の質問に対し答弁。あ
らかじめ会議時間を延長し、岩崎議員から要望があっ
て、午後4時43分延会。

○12月21日（火） 午前10時21分開議、諸般の報
告の後、

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告
第1号を議題とし、一般質問を継続、

神本 三也議員（社会）から、

- ① 日米共同軍事演習に関し、北方におけるソ
ビエトの脅威に対する認識と見解、日米共同
訓練が北方の緊張状態へ与える影響、軍事演
習と豊かな地域社会・生活環境づくりの道政
方針との関連性、日米共同演習が道民生活に
与える影響、日米共同演習に反対し道におい
て中止させる考え
- ② 自衛隊基地に関し、過疎市町村が過疎振興
対策として自衛隊等を誘致することの妥当
性、本道自衛隊の増強についての掌握状況と
対処の考え
- ③ 原発関連問題に関し、発電所建設計画に係
わる北電及び道の電力需要想定の不的確性に
対する見解、道の指導を無視した岩内郡漁協
の漁業振興資金個別配分に対する考え、北電
が漁業振興資金を支出する意味と性格及び算
定根拠、泊原発の用地買収価格の内容と見
解、電力コスト低減を目的とする原発建設が

漁業補償等へ高額投資することへの見解、北電の放射線に係わる誤解を招く広報活動についての今後の対処方

- ④ 石炭にかかわる問題に関し、北炭夕張炭鉱閉山後の新会社早期設立への働きかけの考え、国鉄第2次廃止対象路線の幌内・歌志内線における石炭輸送確保推進についての考え、厚真火力発電所における石炭輸送の貨車転換への考え、滝川火力発電所における国内炭需要拡大対策の状況

- ⑤ 緑資源確保及び保安林に関し、緑資源の本道社会経済に果たす役割についての認識、緑資源確保のための独自の対策の考え、林野庁検討の森林基金等新制度導入に対する考えと対処方、本道保安林の質的現況に対する認識、水需要の見通しと水源涵養保安林配備の関係に対する考え、保安林の公的機能と道の役割

- ⑥ 農業者の健康問題に関し、農薬中毒症防止意識の低さとそれに係わる事故・疾病の実態及び指導・対策の状況、農薬中毒症防止のため医学・保健衛生面からの取り組みに対する認識、農薬中毒に対する応急処置体制確立に対する認識等について

質問があり、知事から答弁。神本三也議員（社会）から再質問、知事から答弁の後、神本議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、神本議員から質問があり、知事から答弁準備に時間を要する旨発言の後、議事進行の都合により、午後零時1分休憩、午後2時52分再開。知事から休憩前の神本議員の発言に対する答弁があり、次いで、

榎林 巖議員（社会）から、

- ① 住宅問題に関し、本道の宅地価格上昇率が高い現状に対する所見、市街化区域の見直しに当たって地方公共団体の意向等地域の実態を把握の上行う考え、港湾工業都市である室蘭市等特殊地域に対し市街化区域の弾力的調整を行う考え
- ② 道有地管理に関し、公用財産管理の基本姿勢、未利用地処理の具体的大綱の考え、未利用地の不適格使用の有無及び貸付による道民開放と収入確保の考え、未利用地財産を宅地供給のため処分する見解
- ③ 伝染病対策に関し、過去10年間の道内伝染

病発生件数、発生時における保健所の対応体制の状況、伝染病発生に対応する隔離病舎・ベット数の現状に対する見解、隔離病舎運営に対する適正な補助額についての考え、海外旅行者に関連する防疫体制の状況と感染疑義者に対する対応状況

- ④ 保健医療問題に関し、公平な医療サービスを基本方針とする保健医療基本計画見直しの考え、医療対策における実務者懇話会での検討課題、札幌医大に地域医療確保を配慮した自治医大的性格を与える考え、札幌医大円山分院を本院に統合する方針変更の有無等について

質問があり、知事から答弁。榎林巖議員（社会）から再質問、午後3時37分休憩、午後3時45分再開。知事から休憩前の榎林議員の質問に対する答弁の後、榎林議員から再再質問、知事から答弁。次いで、

工藤 啓二議員（公明）から、

- ① 農業問題に関し、畑作物の共済事業推進のあり方、稲作地帯における麦共済早期実施の必要性と推進策、着色米発生原因の把握状況とその対策及び今後の本道稲作の安定向上の確立に対する所見
- ② 水産問題に関し、本年の秋サケ来遊量が予測を下回った要因と正確な来遊予測の体制確立に対する所見、利礼地域の栽培漁振興に対する所見、スルメイカ資源の現状と今後の対処方及びイカ釣り漁業の経営安定に対する取り組み方
- ③ 教育問題に関し、公立高校における中途退学者の実態とその理由、中途退学者に係わる学校教育の基本的課題の受けとめ方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。工藤啓二議員（公明）から再質問、知事及び教育長から答弁。次いで、あらかじめ会議時間を延長し、

本間 喜代人議員（共産）から、

- ① 防衛問題に関し、日米共同訓練の内容及び演習を中止させる考え、軍事費を減額し福祉・教育費を増額することについての考え
- ② 老人医療費無料化制度に関し、老人保健法施行に伴う道担の減額に対する見解
- ③ 議員定数に関し、各派の意向と今回の提案内容との関連性等

- ④ 開発問題に関し、苫東開発計画の抜本的見直しの考え、苫東予算を削減する考え、苫東開発計画推進と苫東地域の遺跡保存との関連性
- ⑤ 臨調行革に関し、臨調基本答申の本道への影響、臨調基本理念における情勢の変化についての認識と対処方
- ⑥ 道職員の給与改定に関し、人事委員会の勧告どおり実施する考え
- ⑦ 財政問題に関し、国の補正予算に伴う地方交付税の減額処置が道・市町村へ与える影響、地方交付税の減額分を国へ完全補てんするよう要求する考え
- ⑧ 農業問題に関し、酪農経営の厳しい事態に対処する振興策、農産物の市場開放問題に対する対処方及び稲作農家の負債実態とその対処方
- ⑨ 灯油の価格問題に関し、円高差益に伴う灯油値下の国への働きかけの考え
- ⑩ ローカル線の廃止問題に関し、道への特例措置設定を国へ働きかける考え、国鉄民営化による本道交通確保の可能性と見通し、第3セクター方式に対する出資の考え及び市町村出資の第3セクター方式による経営維持の見通し、代替バスによる輸送機能維持の見通し、岩内線等協議会への参加等あっせんの有無とその状況、関係市町村に協議会参加のあっせん等を行わない考え
- ⑪ 石炭産業問題に関し、夕張新鉱の新会社早期設立を国及び関係者等へ働きかける考え、離職者に対する特別な就労対策の考え、閉山跡地再開発等公共事業による雇用確保の考え、三井観光開発の売却資産に関する資料公開の考え、下請労働者のうち希望者を北炭の空き住宅に入居させる考え
- ⑫ 教育問題に関し、道立高校の周辺環境の実態と対処方、私学助成請願に対する受けとめ方、私学助成における対策強化の考え、道立高校における自衛隊入隊勧誘の実態と対処方について

質問があり、知事及び教育長から答弁。本間喜代人議員（共産）から再質問があり、知事及び教育長から答弁。本間議員から再再質問があり、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

工藤啓二議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、予算特別委員会は31人、決算特別委員会は27人の委員をもって構成する両特別委員会を設置し、議案第1号ないし第8号は予算特別委員会に、報告第1号は決算特別委員会に、それぞれ付託の上、審査されたいとの動議を提出。賛成があつて動議成立、動議のとおり決することに異議なく可決。動議に係る案件は、両特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。次いで、残余の案件について議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

小田原要四蔵（社会）	神本 三也（社会）
伊藤 弘（自民）	小田部善治（道政）
久田 恭弘（自民）	水岡 薫（自民）
山口 真人（自民）	関根 建二（社会）
萩上 元春（社会）	吉野 之雄（社会）
工藤 啓二（公明）	柳谷 正一（公明）
川崎 守（共産）	岡本栄太郎（社会）
岩田 徳弥（自民）	宇川 源吉（自民）
高木 繁光（自民）	寺崎 政朝（自民）
中崎 昭一（自民）	伊藤 豪（道政）
高田 忠雄（道政）	野村 權作（自民）
大平 秀雄（自民）	小沢 栄吉（自民）
吉田 英治（社会）	藤井 虎雄（社会）
藤井 猛（自民）	村上 彝明（自民）
阿部恵三男（自民）	高橋正四郎（自民）
佐藤 幹夫（自民）	

○決算特別委員（27人）

木本 由孝（自民）	小田部善治（道政）
木下 一見（道政）	松本 勇（自民）
水岡 薫（自民）	石山 直行（自民）
佐々木利昭（自民）	小野 秀夫（道政）
平野 明彦（自民）	宇野 眞平（自民）
大平 秀雄（自民）	保格 博夫（社会）
熊谷 克治（社会）	中田 繁夫（社会）
本間喜代人（共産）	高橋 鈺（公明）
星野 健三（社会）	山家 勇（社会）
湯本 芳志（社会）	塚本 肇（社会）
水沼徳一郎（自民）	吉田 政一（自民）
若狭 靖（自民）	東 典俊（自民）
作田 政次（自民）	田辺子政太郎（自民）

杉本 栄一（自民）

次に、

追加日程 会期延長の件を議題とし、会期を12月24日まで3日間延長することをはかり、異議なく決定。

次いで、各委員会付託議案審査のため、12月22日から23日まで休会することに決定して、午後6時41分散会。

○12月24日（金） 午後4時24分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時25分休憩、午後11時37分再開。諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を12月25日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定。12月25日は、議事の都合により特に午前零時5分に繰り上げ、会議を開くことに決定して、午後11時39分散会。

○12月25日（土） 午前1時42分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、岡本栄太郎予算特別委員長（社会）から、議案第1号ないし第8号について、石山直行厚生委員長（自民）から、議案第9号、第11号、第12号及び第19号について、青山正男総務委員長（自民）から、議案第10号、第14号、第17号及び第21号について、中田繁夫文教林務委員長（社会）から、議案第13号、第15号、第23号及び第24号について、笹浪幸男建設委員長（自民）から、議案第16号、第18号、第20号、第22号及び第25号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、

神本三也議員（社会）ほか27人から提出の議案第1号に関する修正動議について、趣旨説明の後、討論に入り、川崎守議員（共産）から、神本議員ほか27人提出の動議に関する賛成討論があって討論終結。

次いで、採決に入り、神本議員ほか27人提出の議案第1号の修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもってこれを否決。次に、

議案第1号のうち、修正案に係わる原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、

共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

議案第1号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分の問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、

議案第16号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、

議案第11号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、

議案第2号ないし第10号、第12号ないし第15号及び第17号ないし第25号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。

日程第2 議案第26号並びに

日程第3 会議案第1号を一括議題とし、青山正男総務委員長（自民）から議案第26号について、委員会における審査の経過と結果について報告。次に、岩崎守男議員（社会）から会議案第1号に関する提案説明の後、委員会付託を省略の上、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から、議案第26号及び会議案第1号に関する反対討論があって、討論終結。次いで、採決に入り、日程第3の会議案第1号を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明、共産反対）をもってこれを否決。次いで、日程第2の議案第26号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

日程第4 議案第27号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり同意議決。次に、

日程第5 意見案第1号ないし第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、いずれも異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第6 請願・陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、いずれも異議なく委員会決定（採択9件）のとおり決定。次に、

閉会中報告第1号継続審査の件について、決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに関係特別委

員長から申し出のとおり、閉会中継統審査又は調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。笠島保副議長から閉会に当たってのあいさつがあって午前2時29分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る12月21日設置され、議案第1号ないし第8号の8件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に神本三也君、副委員長に伊藤弘君、第2分科会は、委員長に水岡薫君、副委員長に吉野之雄君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、22日から各部所管質疑に入り、24日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、24日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託された案件は、景気浮揚と雇用の安定に資するための公共事業費などのほか、当面措置を要する経費及び国庫支出金の確定に伴う経費などについて、緊急に所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ、3百56億5千8百万円余に及ぶ補正予算でありまして、本件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き分科会に

おいて質疑保留となった人事委員会勧告の取り扱い問題につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、24日の委員会において吉野之雄君外7人から修正案が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがって、議案第1号は、原案可決、その他の案件、すなわち、議案第2号ないし第8号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお議案第1号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

また、議案第1号につきまして、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

道が実施する老人医療費給付特別対策事業について、一部負担金を導入するとしたことは、老人保健法との整合性を図るためのやむを得ない措置とはいえ、残念なことであります。

本道の発展に多大の尽力をいただいたお年寄りの方には、温かい援護の実施は当然のことと考えるものであり、老人保健事業の拡充等により老人福祉対策が一層充実されるよう努めるべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、賛成者多数をもって、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、短期間にもかかわらず、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終ります。

第 4 回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
12. 10	1	昭和57年度北海道一般会計補正予算（第4号）	予算特別	12. 25	原案可決
同	2	昭和57年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和57年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	昭和57年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	昭和57年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和57年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	7	昭和57年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	8	昭和57年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	9	札幌医科大学衛生短期大学部条例案	厚生	同	同
同	10	北海道議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	11	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案	厚生	同	同
同	12	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	13	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	14	北海道危険物取扱者試験委員条例を廃止する条例案	総務	同	同
同	15	北海道教員養成所条例を廃止する条例案	文教林務	同	同
同	16	都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	17	樺戸郡浦臼町と同郡月形町との境界変更の件	総務	同	同
同	18	北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件	建設	同	同
同	19	工事請負契約の締結（北海道立身体障害者リハビリテーションセンター（仮称）新築工事）に関する件	厚生	同	同
同	20	工事請負契約の締結（函館市道営高層公営住宅新築工事（大川団地））に関する件	建設	同	同
同	21	財産の取得（北海道釧路支庁別館（仮称）の土地及び建物）に関する件	総務	同	同
同	22	財産の取得（野幌総合運動公園事業用地）に関する件	建設	同	同
同	23	財産の取得（北海道富川高等学校用地）に関する件	文教林務	同	同
同	24	財産の取得（北海道江別地区高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	25	財産の処分（土地、美瑛市字美瑛）に関する件	建設	同	同
12. 16	26	北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
12. 25	27	北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
12. 10	1	昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	12. 25	継続審査
同	2	昭和56年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			報告のみ
同	3	昭和56年度北海道土地開発基金の運用に関する件			報告のみ
同	4	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更（昭和57年7月15日承認を得た議案第17号に係るもの）に関する件、11月19日専決処分〕			報告のみ
同	5	専決処分報告の件〔損害賠償の額の決定、11月16日2件、11月19日1件、11月25日1件、11月30日1件、12月3日1件専決処分〕			報告のみ

第4回定例会において議員から提出のあった案件

会 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 24	1	北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案	岩崎守男議員ほか25人	12. 25	否 決

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
12. 24	1	国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見書	青山正男議員ほか12人	12. 25	原案可決	総 務
同	2	公立文教施設整備に関する要望意見書	中田繁夫議員ほか10人	同	同	文教林務
同	3	義務教育諸学校の児童・生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書	同	同	同	同
同	4	私学振興に関する要望意見書	同	同	同	同
同	5	中国引揚者の援護強化に関する要望意見書	石山直行議員ほか12人	同	同	厚 生

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

修 正 動 議

提出月日	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 24	議案第1号 昭和57年度北海道一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議	神本三也議員ほか27人	12. 25	否 決

会 議 案

会議案第1号

(岩崎守男議員ほか25人提出)
12月25日 否決

北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び 各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改 正する条例案

北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び各選挙区におい
て選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例

(北海道議会議員定数特例条例の一部改正)

第1条 北海道議会議員定数特例条例(昭和53年北海道条例第57号)の一部を次のように改
正する。

本則中「105人」を「110人」に改める。

(北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一
部改正)

第2条 北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例
(昭和49年北海道条例第67号)の一部を次のように改正する。

第1条中「法律第100号」の下に「。以下「法」という。」を加え、同条に次の1項を
加える。

2 法第271条第2項の規定により、三笠市の区域をもって1選挙区とする。

第2条中「公職選挙法」を「法」に、

「石狩支庁所管区域 1人」を「石狩支庁所管区域 2人」に、

「留萌支庁所管区域 2人」を「留萌支庁所管区域 1人」に、

「札幌市中央区 4人」を「札幌市中央区 3人」に、

「札幌市東区 3人」 「札幌市東区 4人

札幌市白石区 3人 を 札幌市白石区 4人 に、

札幌市豊平区 3人」 札幌市豊平区 4人」

「札幌市西区 3人」を「札幌市西区 4人」に、

「帯広市 2人」 「帯広市 3人

を に改める

北見市 1人」 北見市 2人」

附 則

この条例は、次の一般選挙から施行する。

意見案

意見案第1号

(青山正男議員ほか12人提出)
12月25日 原案可決

国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見書

過日、国鉄は、特定地方交通線の第2次対象路線として、本道において松前線など14線区を選定したが、この中には、140キロを超える長大路線や石炭輸送路線が含まれており、第1次と合せると廃止対象は22線区、道内営業線の36パーセントを占めることになり、これは本道の実情を無視したものであり断じて容認できない。

積雪寒冷で面積広大な本道においては、国鉄は、今日なお重要な開発基盤となっており、これが廃止されることになると、沿線地域の住民生活や産業経済はもとより、今後における本道の開発の推進にも大きな影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、政府及び関係当局においては、第2次対象路線の選定を直ちに凍結するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、運輸大臣、
行政管理庁長官、北海道開発庁長官 } 各通

意見案第2号

(中田繁夫議員ほか10人提出)
12月25日 原案可決

公立文教施設整備に関する要望意見書

学校教育の最も重要な基盤である公立文教施設は、国庫補助制度の拡充と地方自治体の努力によって逐年整備・充実が図られてきているが、今なお早期に整備・改善を要する課題が山積している。

特に、積雪寒冷地域である本道においては、木造校舎の不燃化、非木造校舎の大規模改修などが当面の課題であり、地方自治体において、その整備に努力を重ねているところである。

地方自治体の財政が窮迫している現状から、公立文教施設の整備については、国の適切かつ積極的な施策が必要であり、特に次の事項の実現について配慮されるよう要望する。

記

1. 木造危険建物耐力度点数引上げ措置の恒久化
木造危険建物耐力度点数1,000点引上げ措置の恒久化
2. 大規模改修費に対する補助
建築後相当年数を経過した鉄筋建物等の質的向上を図るための大規模改修費についての補助の新設
3. 児童・生徒急増地域に係る国の負担割合の特例措置の延長等
義務教育諸学校施設国庫負担法附則第3項で定める国の負担割合の特例措置の延長及び急増地域指定に伴う有効年限の延長

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣 } 各通
自治大臣、行政管理庁長官

意見案第3号

(中田繁夫議員ほか10人提出)
12月25日 原案可決

義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度 の存続に関する要望意見書

義務教育諸学校の児童・生徒に対する教科用図書無償給与制度は、憲法第26条の義務教育無償の精神をより広く実現するために、義務教育の根幹ともいべき施策として実施されている。

この制度は、昭和38年から実施されて以来、今日まで20年を経て、既に国民の間に深く定着しているものであり、財政事情によって変更されるべきものでなく、現行制度を維持存続するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣 } 各通
自治大臣、行政管理庁長官

意見案第4号

(中田繁夫議員ほか10人提出)
12月25日 原案可決

私学振興に関する要望意見書

わが国の教育において、私学は極めて重要な役割を果たしているが、現下の社会経済情勢の変化に伴って、私学の経営危機が叫ばれつづけている。

一方、この経営危機に伴って、私学の授業料等は極めて高額になっているが、公立学校との学費負担の格差はますます拡大する傾向にある。

このような私学の現状を放置するならば、ひいては私学存立の危機にもつながる問題である。

従って、左記事項について速やかに所要の措置を講ぜられるよう要望する。

記

1. 私立高等学校及び私立幼稚園の経常費助成に対する国の財源措置の拡充強化
2. 私立専修学校の振興方策の樹立と経常費助成制度の創設

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣 } 各通
自治大臣、行政管理庁長官

中国引揚者の援護強化に関する要望意見書

第2次世界大戦終了後37年を経過した今日、中華人民共和国に居住し、未だに帰国できない同胞があることは、戦争の犠牲の大きさを示すものである。

ここ数年来戦争孤児の日本への引揚げが促進され多くの同胞が帰国したが、帰国後の生活について多くの困難に直面していることから政府においては、次の事項について速やかに措置されるよう要望する。

記

1. 帰国した孤児の、中国に残してきた養父母等に対する扶養費については、貸付制度から支給制度とすること。
2. 帰国後の国籍取得について、中国籍の夫、元日本国民の子については、3年以上の居住が条件とされているが、日本社会の1員として地域社会への積極的参加を切望しており、早期帰化手続きが行われるよう居住年限の緩和措置を講ずること。
3. はり師、きゆう師及び看護婦など中国において医療に従事していた者が帰国後、日本での資格を取得する場合は、法に定める養成施設での一定期間以上の知識・技能修得が義務づけられておりこれに要する高額な費用の貸付など条件の整備に努め、技術を生かした生活の安定のための措置を講ずること。
4. 国においては、すでに「中国帰国者センター」の設置を決定しているが、国内各地に居住する帰国者が地域の特性を生かした生活指導等を受けられるよう、ブロック別センターの設置を検討すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、法務大臣 } 各通
厚生大臣

請 願 ・ 陳 情

(1) 第4回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
178	優生保護法の改正に反対する件	全北海道労働組合協議会 議長 小納谷幸一郎ほか5人	厚生	継続審査
179	同	北海道教職員組合 中央執行委員長 町田 治雄	同	同
180	低肺機能障害者に対する救急医療対策確立に関する件	障害者の生活と権利を守る 北海道連絡協議会 会長 三浦 彌	同	同
181	優生保護法の改正反対に関する件	北海道平和婦人会 代表 三浦幸子ほか9人	同	同
182	はり・きゅう・マッサージを医療として正しく位置づけ視力障害者の仕事と生活を守る件	障害者の生活と権利を守る 北海道連絡協議会 会長 三浦 彌	同	同
183	障害者世帯及び高齢者世帯に対する積雪期の除雪・冬季採暖費の援助を求める件	同	同	同
184	平和憲法を守り北海道の非核地帯宣言を要請する件	民主教育をすすめる道民連合会 会長 川村 琢ほか2人	総 務	同
185	国民生活犠牲の行財政改革に反対し、主任手当をやめ教育条件の整備を求める件	同	文教林務	同
186	国民生活犠牲の行財政改革に反対し、主任手当をやめ教育条件の整備を求める件	同	厚生	同
187	優生保護法の改正反対に関する件	北海道優生保護法改悪阻止連絡 会 代表 佐藤 幸子	同	同
188	老人医療費無料制度の継続と拡充を求める件	北海道民主医療機関連合会 会長 山辺 富也	同	同
189	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅な私学助成を求める件	北海道私立学校教職員組合 中央執行委員長 泉 脩	文教林務	同
190	教科書の書き換えに反対し、子どもに真実に基づくよい教科書を与えることを求める件	民主教育をすすめる道民連合 会長 川村 琢ほか2人	同	同
191	腎臓病の予防、治療対策の拡充と患者の生活保障対策の改善を要望する件	北海道腎臓病患者連絡協議会 会長 岩崎 薫	厚生	同
192	公立学校教員採用選考検査の国籍条項の撤廃を求める件	在日韓国・朝鮮人の教育を考 える道民の会 代表世話人 三吉 明	文教林務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
88	栄養士免許及び管理栄養士登録制度改廃に反対する件	社団法人 日本栄養士会北海道 支部 支部長 細川邦子ほか2人	厚生	継続審査
89	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	釧路市南浜町9番34号 亀岡 鶴雄	同	同

② 継続審査中のものであって、第4回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	総 務	採 択
171	国鉄オホーツク本線建設促進に関する件	同	同
177	住居地域内に建設予定のパチンコ店の開店反対に関する件	同	議決不要
107	特別養護老人ホーム増設の件	厚 生	取 下 げ
161	北海道立衛生学院歯科衛生士科養成課程2年制移行を求める件	同	採 択
162	コインランドリーの適正管理に関する件	同	同
154	農業者年金基金制度改善に関する件	農 務	同
137	江別市に全日制道立普通科高等学校の新設を求める件	文教林務	同
138	北海道立高等学校（全日制普通科）の江別市内新設を求める件	同	同
159	北海道立農業高等学校に造園科の設置を求める件	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
81	江別市に北海道立高等学校（普通科）の新設を求める件	文教林務	採 択

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	総 務
24	登別市に警察署設置の件	同
100	指名競争入札の執行に関する件	同
115	樺太会館建設に関する件	同
116	「核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律（非核3原則法）」の制定促進に関する件	同
125	国民生活に必要な制度と地方財政への補助金・交付金削減・一括改悪をやめ、民主的な行財政改革によって福祉・教育・地方財政などの充実をもとめる件	同
126	憲法改変・新憲法制定決議に反対の件	同
155	つり人対策に関する件	同
157	たばこ専売制度存続に関する件	同
165	灯油価格の値下げ対策等を要求する件	同
168	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	同
176	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件外2件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
8	道立病院の拡充強化を求める件	厚 生
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
47	薬害スモン恒久対策に関する件	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	同
53	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、拡充を要求する件	同
61	道立内部障害者更生指導所の美唄市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	同
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	同
96	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	同
117	老人医療無料制度の充実を求める決議に関する件	同
118	老人保健法（案）の制定に関する件	同
119	医療法の一部改正に関する件	同
120	医業税制の確立及び新医療法人の立法化に関する件	同
121	療養担当手当の引上げに関する件	同
134	難病検診と道立江差病院診療充実に関する件	同
140	精神衛生社会生活適応施設の設立に関する件	同
163	優生保護法の改正に関する件	同
166	灯油価格値下げ対策等を要求する件	同
169	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	同
172	行政改革に伴う理容・美容・クリーニング業の許認可事項等に関する件	同
175	老人医療の有料化と所得制限の強化に反対し、高齢者の健康と医療を守ることにに関する件	同
108	季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善に関する件	商工労働
113	季節労働者の雇用確保と生活保障等に関する件	同
151	労働行政職員の増員による行政体制確立に関する件	同
152	積寒給付金制度の改善・継続と季節労働者の雇用対策に関する件	同
160	煉瓦工の養成に関する件	同
164	エルビガース販売業者の生活権確保のための行政指導並びに釧路ガス株式会社との紛争解決のためのあっ旋依頼に関する件	同
167	灯油価格値下げ対策を要求する件	同
170	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
173	中小企業承継税制の創設促進に関する件	商工労働
174	中小企業の事業承継税制の早期確立に関する件	同
69	道営住宅の敷金還付に関する件	建 設
156	つり人対策に関する件	水 産
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	文教林務
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求める件	同
103	留萌南部地区（留萌市・増毛町・小平町）高等学校普通科間口増設に関する件	同
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と56年・57年「ヒノエウマ」の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	同
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	同
135	学校の主任制度・手当支給の撤廃を求める件	同
136	40人学級の早期実現・教科書無償制度の維持・私学助成の拡大等・教育予算大幅増額を求める件	同
139	私学の学費値上げをおさえ、父母負担と教育条件の公私格差を是正するために、私学助成の大幅な増額を求める件	同
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策 特 別

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
64	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
65	「郵貯懇を見守ること」に関する件	総 務
66	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同
70	郵便貯金問題に関する件	同
74	江別市選出の道議会議員の定数増員に関する件	同
75	総合助燃触媒ターボエース（灯油用）に係るテスト結果の相違を解決する方策に関する件	同
78	塩専売制度の存続に関する件	同
83	「核兵器廃絶、平和北海道宣言」に関する件	同
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
19	道立和光学園の廃止反対の件	同
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	同
79	愛国児童館建設に関する件	同
80	元軍人軍属恩給欠格者の救済に関する件	同
84	（仮称）釧路がん検診センターの設置に関する件	同
85	社会福祉法人釧路まリモ学園の運営に関する件	同
87	政府系資金の貸付対象業種にパチンコ遊技業を指定することに関する件	商工労働
29	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農 務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同
71	札幌盲学校の名称変更の件	同
72	道立高等看護学院を専修学校又は各種学校として設置・管理すること等に関する件	同
82	北海道星置養護学校に高等部の設置を求める件	同
86	劇団さっぽろ公演事業に対する助成の件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○12月3日（金） 午後3時35分、議会運営委員会室において開議、午後3時43分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

① 委員長から、元道議会議員 本宮章太郎氏（網走支庁選出、13期）の逝去（10月31日）について、報告。

② 第4回定例会の招集期日を12月10日とすることを異議なく了承。会期は12日間とすることに決定。

③ 総務部長から、第4回定例会提出案件の予定状況について説明の後、

岩崎守男委員（社会）から、人事委員会勧告に基づく職員の給与改定に関する案件提案の見通し、取り扱いについて質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

④ 第4回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第4回定例会日程

12月10日 本会議（提案説明）

11日～13日 休会

14日 本会議（代表質問）

15日 本会議（代表・一般質問）

16日 本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）

17日～20日 休会

21日 本会議

⑤ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政の順とすることとし、会派別発言時間の使用状況について説明。

⑥ 代表質問の通告は、12月11日正午までとすることを了承。

⑦ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、通告は、12月13日正午までとすることを了承。

⑧ 議事課長から、北海道議会事例集の編集発行について説明。

○12月9日（木） 午後4時6分、議会運営委員会室において開議、午後2時10分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

② 総務部長から、北海道議会議員の定数条例等を改正する条例案について、各派会長会議の意向が決定しだい提案したい旨報告。

③ 予算特別委員会について、次のとおり了承。

(1) 構成は、31人（自民17人、社会8人、道政3人、公明2人、共産1人）。

(2) 分科会は、2分科会各15人、各派別委員は各派間の調整によること。

(3) 正副委員長の配分は、本委員会は委員長 社会・副委員長自民、第1分科会は委員長 社会・副委員長自民、第2分科会は委員長 自民・副委員長社会とすること。

④ 決算特別委員会について、次のとおり了承。

(1) 構成は、27人（自民15人、社会7人、道政3人、公明1人、共産1人）。

(2) 正副委員長の配分は、委員長自民・副委員長社会とすること。

⑤ 予算・決算特別委員の名簿の提出は、12月14日正午までとすることを了承。

⑥ 予算・決算特別委員会の設置動議の提出は、公明党とすることを了承。

⑦ 議案調査のため、12月11日から12月13日まで休会し、12月14日再開することに異議なく決定。

⑧ 12月10日の本会議議事順序について、明日協議することを了承。

○12月10日（金） 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（12月10日から12月21日まで12日間）

日程第3 議案第1号ないし第25号及び報告第1号

提出議案に関する知事の説明

議案調査のための休会日の決定

（12月11日から12月13日まで）

- ② 委員長から、若狭靖農務委員長（自民）が、中央折衝のため上京することを報告。

○12月14日（火） 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午後4時32分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 代表質問の通告（4人）について報告。本日2人、明日2人とすることに決定。
- ② 一般質問の通告（12人）について報告。順位は、従来の例により取り進めることとし、個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、15日に代表質問2人行った後、一般質問5人、16日に7人の予定で行うことを決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時42分休憩、午後4時32分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号

質疑並びに一般質問（代表質問2人）

- ④ 総務部長から、吉野之雄議員（社会）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することに決定。

○12月15日（水） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後5時16分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 委員長から、議長が病院にて検査のため欠席する旨報告。

- ② 総務部長から、吉野之雄議員（社会）の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は、吉野議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを了承。

- ③ 一般質問の通告内容等の変更申し出について了承。

- ④ 本日の本会議は、代表質問4人、引き続き一般質問を行う予定で取り進めることとし、進行状況により、あらためて協議することを了承。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時48分休憩、午後5時14分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号

質疑並びに一般質問（代表質問4人、一般質問）

- ⑥ 委員長から、議員定数問題に関し、議長から、代表質問終了後に議員定数改正関係条例案を上程する方向で協議願いたい旨話があったことを報告。
- ⑦ 総務部長から、明日追加提出予定の案件について説明、代表質問終了後に上程することについてはかり、異議なく決定。

○12月16日（木） 午前10時20分、議会運営委員会室において開議、午前10時25分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 総務部長から、本日追加提出予定の案件について説明があり、本件については本日の本会議において代表質問終了後、知事の提案説明を行うことを了承。

- ② 一般質問の通告内容の変更申し出について了承。

- ③ 一般質問の当初日程は本日までとなっているが、本日は代表質問3人・一般質問2人、17日一般質問5人、18日一般質問4人の予定で取り進めることを決定。

- ④ 本日の本会議について、代表質問3人終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として知事の追加提出議案に関する説明を行い、

引き続き一般質問2人を行う予定で取り進めることを決定。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序
(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(代表質問3人)

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第26号
追加提出議案に関する知事の説明

◎日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続(一般質問2人)

○12月17日(金) 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午前9時46分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
② 一般質問について、本日6人行うことを了承。
③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序
(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(一般質問6人)

○12月18日(土) 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午前9時47分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、議長が検査のため欠席する旨報告。
② 一般質問の今後の進め方について、本日6人、20日4人の予定で行うことに決定。
③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(一般質問6人)

○12月20日(月) 午後1時38分、議会運営委員会室において開議、午後1時40分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、本日の本委員会開催時間が遅れたことについて遺憾の意を表し、今後の委員会運営に十分留意の旨発言があった。
② 総務部長から、18日の長岡寅雄議員(社会)の質問に対する知事答弁について説明し、真意を理解願いたい旨発言があって、了承。
③ 一般質問の今後の進め方について、21日も行うこととし、本日3人、21日4人の予定で行うことを決定。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序
(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(一般質問7人)

○12月21日(火) 午前9時51分、議会運営委員会室において開議、午後1時42分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 副議長から、議長が検査治療のため10日間程度入院加療を要するため欠席すること及び議長職務は副議長が代行する旨報告。
② 一般質問の通告内容の変更について了承。
③ 本日の本会議の議事は、一般質問4人の予定で行うことを了承。
④ 予算特別委員会の各会派別分科委員数について、決定した旨報告。
⑤ 予算及び決算特別委員会名簿について、別紙名簿のとおり選任すること、設置動議は、工藤啓二議員(公明)に提出願うことを了

承。

- ⑥ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑦ 会期について、本日までとなっているが、本会議休憩中に改めて協議することに決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時56分休憩、午後1時40分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(一般質問4人)

- ⑨ 会期について、12月24日まで3日間延長することに決定。
- ⑩ 各委員会付託議案調査のため、22日から23日まで休会し、24日再開することに決定。
- ⑪ 再開後の本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(一般質問4人・内1人継続)

(質疑終結宣告)

- 予算及び決算特別委員会設置
- 予算及び決算特別委員の選任
- 議案の各委員会付託

追加日程 会期延長の件

各委員会付託議案審査のため休会の決定
(12月22日から12月23日まで)

○12月24日(金) 午後4時15分、議会運営委員会室において開議、午後11時32分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は取りあえず会議時間を延長することに決定。午後4時16分休憩、午後11時30分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 会期について、12月25日まで1日間延長す

ることに決定。

- ④ 明日の本会議について、議事の都合により開議時間を午前零時5分に繰り上げることに決定。

○12月25日(土) 午前1時25分、議会運営委員会室において開議、午前1時36分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ② 委員長から、決算特別委員会に付託の報告第1号(昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件)について、昨日の委員会において継続審査の申し出をすることに決定した旨報告。
- ③ 神本三也議員(社会)ほか27人から、議案第1号に関する修正案の提出があった旨報告、本日の本会議に上程する扱いとすることををはかり決定。
- ④ 意見案第1号ないし第5号の提出があった旨報告、本日の本会議において議決する扱いとすることををはかり決定。
- ⑤ 総務部長から、追加提出議案に関する説明があり、本日の本会議において議決する扱いとすることををはかり決定。
- ⑥ 各関係委員長から審査報告のあった請願・陳情について、本日の本会議において議決する扱いとすることををはかり決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第25号

予算特別、厚生、総務、文教林務、建設各委員長報告

神本三也議員の議案第1号の修正案に関する説明

(討論)

- 1. 川崎守議員の議案第1号の修正案に関する賛成討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1. 神本三也議員ほか27人提出の議案第

1号に関する修正案を問題とし、起立により採決（自民、道政、公明反対）

2. 議案第1号の予算特別委員長の報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおりに決することについて起立により採決（社会、共産反対）
3. 議案第1号の予算特別委員長の報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおりに決することについて簡易採決
4. 議案第16号を問題とし、委員長報告（可決）のとおりに決することについて起立により採決（社会、共産反対）
5. 議案第11号を問題とし、委員長報告（可決）のとおりに決することについて起立により採決（社会反対）
6. 議案第2号ないし第10号、第12号ないし第15号及び第17号ないし第25号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおりに決することについて簡易採決

日程第2 議案第26号

日程第3 会議案第1号

〔日程第2並びに日程第3を一括議題〕

青山正男総務委員長の報告
岩崎守男議員の会議案第1号に関する説明

（会議案第1号の委員会付託省略）

（討論）

1. 本問喜代人議員の議案第26号及び会議案第1号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 日程第3の会議案第1号を問題とし、本件を原案のとおりに決することについて起立により採決（自民、道政、公明、共産反対）
2. 日程第2の議案第26号を問題とし、委員長報告（可決）のとおりに決する

ことについて起立により採決（社会、共産反対）

日程第4 議案第27号

追加提出議案に関する知事の説明

（委員会付託省略）

（採決）

1. 本件を原案のとおりに同意することについて簡易採決

〔議案第27号北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件〕

日程第5 意見案第1号ないし第5号

意見案第1号 国鉄特定地方交通線第二次線の選定凍結を求める要望意見書

意見案第2号 公立文教施設整備に関する要望意見書

意見案第3号 義務教育諸学校の児童・生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書

意見案第4号 私学振興に関する要望意見書

意見案第5号 中国引揚者の援護強化に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件をいずれも原案のとおりに決することについて簡易採決

日程第6 請願・陳情審査の件

（採択9件）

（委員長報告省略）

（採決）

1. 本件をいずれも請願・陳情審査報告書（採択）のとおりに決することについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

決算特別委員長から報告第1号について、申し出のとおりに閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおりに閉会中継続

- 審査または調査に付することについて簡易採決
- 議長の閉会あいさつ
- 閉会宣告

常任委員会

総務委員会

○12月9日（木） 午前10時32分 第5委員会室
において開議、午前10時47分
散会
委員長 青山 正男（自民）

請願・陳情の審査

請 願

第177号 住居地域内に建設予定のパチン
コ店の開店反対に関する件
（保留）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の行財政等調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 総務部長から、職員の不祥事について報告。
- ④ 委員長から、歳末取締り状況の視察の実施についてはかり、異議なく決定。

○12月16日（木） 午前10時4分、第5委員会室
において開議、午前10時5分
散会
委員長 青山 正男（自民）

一 般 議 事

- 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

○12月24日（金） 午後6時5分、第5委員会室
において開議、午後11時41分
散会
委員長 青山 正男（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第10号（北海道議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第14号（北海道危険物取扱者試験委員条例を廃止する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第17号（樺戸郡浦臼町と同郡月形町との境界変更の件）を議題とし、総務部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第21号（財産の取得に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。議事進行の都合により午後6時18分休憩、午後7時37分再開。
- ⑤ 議案第26号（北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、

保格博夫委員（社会）から、有権者の票の重みへの配慮、北海道の特殊性についての見解、配分にあたっての基本的な視点、人口増減に対応する定数の激変緩和についての考え方について

質疑があり、総務部長から答弁の後、議事進行の都合により午後8時28分休憩、午後9時10分再開し、総務部長から再答弁の後、

保格博夫委員（社会）から、非人口的要素の配慮と地域の均衡、札幌市中央区、三笠市、石狩支庁管内の定数配分について

質疑があり総務部長から答弁の後、議事進行の都合により午後10時8分休憩、午後11時40分再開。

請願・陳情の審査

請 願

第177号 住居地域内に建設予定のパチンコ店の開店反対に関する件

（議決不要）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の行財政等調査の概要について報告書により報告、異議なく決定。

- ② 委員長から、所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

- ③ 委員長から、国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見案について、配付の案文により発議することををはかり、異議なく決定。

- ④ 委員長から、昭和58年度国費予算に関する中央折衝及び国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○12月25日（土） 午前零時25分、第5委員会室において開議、午前1時2分散会

委員長 青山 正男（自民）

付託案件の審査

- 12月24日に引き続き議案第26号を議題とし

保格博夫委員（社会）から、定数配分における票の重みの基本的考え、減緩増徴方式の考え、地域間の均衡に対する配慮、定数配分にあたって政令市と小都市、郡部間の政治的バランスの取り方について

質疑があり、寺田副知事から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

厚 生 委 員 会

○12月1日（水） 午前10時18分、第9委員会室において開議、午前11時45分散会

委員長 石山 直行（自民）

請願・陳情の審査

請 願

第5号 家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件

（保留）

第75号 国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件（保留）

第94号 灯油の価格安定と福祉灯油の実

- 施に関する件 (保留)
- 第 96 号 家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件 (保留)
- 第 166 号 灯油価格値下げ対策等を要求する件 (保留)
- 第 169 号 灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件 (保留)

陳 情

- 第 54 号 老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件 (保留)

本件について、民生部長から説明の後、

関根建二委員（社会）から、国民健康保険に関し、4 国保組合の傷病手当金・出産手当金の給付実態、給付実態のアンバランスに対する見解及び指導の考え、各国保組合の給付制度のアンバランス是正を国に要望する考え、市町村の法定給付の実態と格差是正の考え及び見通し、第一次産業や5 人未満の事業所の従事者等に傷病手当金等任意給付の実施を指導する考え、実施するための国庫負担金の増額を国に要望する考え

川崎守委員（共産）から、福祉灯油に関し、49年度の実施状況、母子家庭等対象世帯と一般勤労者の収入に関し、49年と現在の対比状況、特別生活資金貸付制度の貸付・償還の状況及び貸付件数が56年度に減少した理由、福祉灯油制度を再実施する考えについて

関根建二委員（社会）から、厳寒期における年金受給者等の生活実態調査の進捗状況、特別生活資金の貸付限度額の引き上げ及び道社協・道母連に同事業の委託をすることの妥当性と制度のあり方に対する疑問並びにそれに対する見解、生活実態調査を踏まえた弱者対策のあり方を検討する考えについて

質疑、意見及び要望があり民生部長から答弁の後、副委員長から、本件について結論を保留することをほかり、異議なく決定。

において開議、午前10時39分散会

委員長 石山 直行（自民）

一 般 議 事

- ① 北海道地方社会福祉審議会委員に舟山広治委員（社会）及び高田忠雄委員（道政）を推せんすることに異議なく決定。
- ② 委員長から、さきに実施した沖縄戦没者慰霊祭参列の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 民生部長及び衛生部長から、第4 回定例会提出予定案件について説明。

○12月24日（金） 午後6時7分、第9 委員会室において開議、午後6時27分散会

委員長 石山 直行（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第9 号（札幌医科大学衛生短期大学部条例案）を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第11号（北海道病院事業条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明の後、
関根建二委員（社会）から、夕張療養所の廃止に関し、結核病床・医療の今後のあり方、職員の勤務環境の変化に伴う対応策の見通しについて
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第12号（北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第19号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

請願・陳情の審査

請 願

第 162 号 コインランドリーの適正管理に関する件 (採択)

○12月9日（木） 午前10時26分、第9 委員会室

一 般 議 事

- ① 委員長から、本委員会に付託されていた請願第107号（特別養護老人ホーム増設の件）については、付託が取り消された旨報告。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり異議なく決定。
- ③ 委員長から、中国引揚者の援護強化に関する要望意見案について、配付の案文により発議することををはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、昭和58年度開発予算及び要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することとした。

商工労働委員会

○12月9日（木） 午前10時37分、第8委員会室
において開議、午前10時41分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- 商工観光部長及び労働部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月24日（金） 午後6時4分、第8委員会室
において開議、午後6時7分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和58年度北海道開発予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

農 務 委 員 会

○12月9日（木） 午前10時49分、第7委員会室
において開議、午後零時9分
散会
委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度転作等目標面積の軽減措置に関する中央折衝の概要について報告書による報告、異議なく了承。

- ② 農務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

- ③ 農務部長から、昭和58年度転作等目標面積及び事前売渡し申込限度数量の支庁別配分について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、限度数量と減反面積の関係、もち米の適正流通のあり方について

質疑があり、農務部長から答弁。

- ④ 農務部長から、道立天北農業試験場天塩支場の廃止について報告。

- ⑤ 岡本栄太郎委員（社会）から(1)道が農業会議に委託した「地域農業構造動態調査（農地移動等実態調査）」に関し、農業会議が行った「農地活動化の条件と可能性に関するアンケート調査」に対する道の係わり方、転作奨励金問題等に対する道の今後の対処、(2)農産物加工場の水質汚濁防止に関し、業者に対する指導、設備改善費の貸付条件の改善など地場産業育成にあたっての今後の対応について

質疑があり、農務部長から答弁。

○12月24日（金） 午後4時8分、第7委員会室
において開議、午後4時10分
散会
委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和58年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査

の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

建設委員会

○12月9日（木） 午前10時45分、第4委員会室
において開議、午前10時56分
散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した第9次道路整備5ヵ年計画の策定に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○12月24日（金） 午後6時6分、第4委員会室
において開議、午後6時17分
散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第16号（都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第18号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第20号（工事請負契約の締結に関する件）、議案第22号（財産の取得に関する件）及び議案第25号（財産の処分に関する件）を順次議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、昭和58年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

農地開発委員会

○12月9日（木） 午前10時39分、第3委員会室
において開議、午前10時46分
散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した土地基盤整備と環境整備の促進に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○12月24日（金） 午後6時6分、第3委員会室
において開議、午後6時8分
散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和58年度北海道開発予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することとした。

水産委員会

○12月9日（木） 午前10時38分、第6委員会室
において開議、午前10時48分
散会
委員長 新沼 浩（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、さきに行われた日ソ漁業交渉の結果について報告。
- ② 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 委員長から、さきに実施した日ソ漁業交渉

に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○12月24日（金） 午後6時8分、第6委員会室
において開議、午後6時14分
散会
委員長 新沼 浩（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、昭和58年度国費予算の概要について説明。
- ② 委員長から、昭和58年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、付託の請願・陳情について、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

文教林務委員会

○12月9日（木） 午前11時5分、第10委員会室
において開議、午前11時21分
散会
委員長 中田 繁夫（社会）

請願・陳情の審査

請 願

- 第137号 江別市に全日道立普通科高等学校の新設を求める件（採択）
- 第138号 北海道立高等学校（全日制普通科）の江別市内新設を求める件（採択）
- 第159号 北海道立農業高等学校に造園科の設置を求める件（採択）

陳 情

- 第81号 江別市に北海道立高等学校（普通科）の新設を求める件（採択）

一 般 議 事

- ① 教育長及び林務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 教育長から、教科書問題に関する学校の指導について説明の後、
熊谷克治委員（社会）から、学校の主体的

研究成果が教育実践の中でいかされるような指導について要望。

○12月24日（金） 午後6時8分、第10委員会室
において開議、午後6時16分
散会、委員長事故のため
副委員長 佐々木利昭（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第13号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）及び議案第15号（北海道教員養成所条例を廃止する条例案）を一括議題とし、教育長から説明の後、
本間喜代人委員（共産）から、夕張東高等学校の廃止に伴い転入先の夕張南高等学校におけるカリキュラムの調整、教職員の配置、通学対策等、学校運営に支障のないよう配慮するよう要望があつて、原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第23号及び第24号（財産の取得に関する件）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 副委員長から、公立文教施設整備に関する要望意見案、義務教育諸学校の児童・生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見案及び私学振興に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 副委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 副委員長から、昭和58年度国費関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○12月9日（木） 午後1時44分、第1委員会室
において開議、午後1時46分
散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 開発調整部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内の開発事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

北方領土対策特別委員会

○12月9日（木） 午後1時42分、第3委員会室
において開議、午後1時53分
散会

委員長 小沢 栄吉（自民）

- ① 領対本部長から、さきに実施した北方領土返還促進国連派遣北海道使節団の活動概要について報告。
- ② 領対本部長から、北方領土返還要求中央要請並びに国会請願の実施について説明の後、委員長から、本件に関する委員の派遣については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

○12月9日（木） 午後1時38分、第2委員会室
において開議、午後1時55分
散会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 生活環境部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 生活環境部長から、泊発電所の建設工事に係る環境保全等に関する協定（案）について報告。
- ③ 生活環境部長から、水質汚濁防止法に基づ

く改善命令等の発動について報告。

○12月24日（金） 午後6時38分、第2委員会室
において開議、午後6時42分
散会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 生活環境部長から、沙流川総合開発事業の環境影響評価の実施状況について報告。
- ③ 生活環境部長から、泊発電所の建設工事に係る環境保全等に関する協定の締結について報告。

予 算 特 別 委 員 会

○12月21日（火） 午後6時51分、第1委員会室
において開議、午後7時2分
散会

委員長 岡本栄太郎（社会）

正副委員長の互選

- ① 村上彝臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、水岡薫委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって岡本栄太郎委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、神本三也委員（社会）の動議により、指名推選の方法をもって高木繁光委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後6時56分休憩、午後6時58分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対す

る総括質疑は、本委員会において行うことを
はかり、異議なく決定。

- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異
議なく配付の委員名簿のとおり選任するこ
とに決定。

○ 第1分科委員（15人）

小田原要四蔵（社会）	神本 三也（社会）
伊藤 弘（自民）	久田 恭弘（自民）
関根 建二（社会）	工藤 啓二（公明）
岩田 徳弥（自民）	伊藤 豪（道政）
高田 忠雄（道政）	小沢 栄吉（自民）
吉田 英治（社会）	藤井 猛（自民）
村上 彝明（自民）	高橋正四郎（自民）
佐藤 幹夫（自民）	

○ 第2分科委員（15人）

小田部善治（道政）	水岡 薫（自民）
山口 眞人（自民）	萩上 元春（社会）
吉野 之雄（社会）	柳谷 正一（公明）
川崎 守（共産）	宇川 源吉（自民）
高木 繁光（自民）	寺崎 政朝（自民）
中崎 昭一（自民）	野村 權作（自民）
大平 秀雄（自民）	藤井 虎雄（社会）
阿部恵三男（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長
1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選
任並びに所属変更については本委員長におい
て行うことについてはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程について
はかり、異議なく配付の日程表のとおりとす
ることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により
一括して行うこと、一問一答方式により行う
場合は委員長に申し出ること、発言の順位は
本会議における一般質問に準ずることをはか
り、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席
表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び
各分科正副委員長をもって構成する理事会を
設置しその協議により運営することについて
はかり、異議なく決定。

第 1 分 科 会

○12月21日（火） 午後7時5分、第1委員会室
において開議、午後7時13分
散会

第1分科委員長

神本 三也（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に神本
三也委員（社会）、分科副委員長に伊藤弘委
員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道
政及び公明各1名計4名の理事を選びその協
議により行うことについてはかり、異議なく
決定。理事には、久田恭弘委員（自民）、関
根建二委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及
び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、
その都度分科会にはかり決定することとし
た。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席
表のとおりとすることに決定。

○12月22日（水） 午後1時19分、第1委員会室
において開議、午後6時7分
散会

第1分科委員長

神本 三也（社会）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、

自動車運転免許に関し、指定自動車学校の
検定制度のあり方、指定校と非指定校及び指
定校間に免許試験の合格率の差がある理由、
指定校の検定に対する抽出検査を中止した理
由、自動車学校に対する適切な指導、監督方
等について

湯本 芳志委員（社会）から、

警察退職職員の再就職に関し、警察退職者
の再就職先について公表できない理由、公表
することについて本人の意思の確認の有無、
道庁職員の場合と異なった取り扱いをする理
由等について

高田 忠雄委員（道政）から、

自動車運転免許の取得・更新事務に関し、
運転免許の取得・更新の事務手続の概要、道
内の免許取得・更新の取扱件数、室蘭警察署
の取扱件数のうち登別市居住者の割合、窓口
混雑の現状と対処策、登別市に警察署を設置
することについての住民要望の受けとめ方、
今後の取り組み姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、交通部長及
び警務部長から答弁があって公安委員会所管に対する
質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、関根建二委員（社会）か
らの質疑通告取下げについて報告の後、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

工業用水の需給に関し、62年度工業出荷額
の内訳と発展計画における工業用水需要の推
計方法、最近の工業用水の需要の動向と需要
減少の理由、臨空工業団地の水の供給体制、
発展計画における工業用水の需給計画見直し
の必要性等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁があって
開発調整部所管に対する質疑を終結。

③ 民生部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

老人医療費に関し、上乗せ福祉の概念と地
方公共団体の老人医療費無料化に係る単独事
業を行うことに対する見解、老人医療費の一
部負担制度の導入に伴う道の貸付制度の内容
と貸付金返還の方法、道内における65歳以上
の健康診断の実施状況、老人健康診査事業に
係る道費負担金の交付申請についての通達内
容、補正予算が道議会で議決される前に通達
したことの妥当性等について

質疑及び意見があり、民生部長から答弁。湯本芳志委
員（社会）から議事進行発言があって午後6時3分休
憩、午後6時6分再開し直ちに散会。

○12月23日（木） 午前10時46分、第1委員会室
において開議、午後5時31分
散会
第1分科委員長

神本 三也（社会）

① 民生部所管に対する質疑の続行、

民生部長から、昨日の関根建二委員（社会）
の質疑に対する答弁の後、

関根 建二委員（社会）から、

(1) 老人健康診査の補助金に関し、補助金の
交付申請に係る通達に対する補足文書の内容、
道費負担分を市町村へ転嫁の有無

(2) 中国引揚者の援護に関し、道内における
中国引揚者の生活実態等の把握状況、養父
母の扶養費支給に対する見解、国籍取得の
ための居住要件緩和に対する見解、中国で
取得した資格について日本で資格取得する
要件の緩和の必要性、ブロックごとの中国
帰国者センター設置の必要性等について

工藤 啓二委員（公明）から、

老人医療に関し、道単独事業として老人医
療費公費負担を実施してきたことの意義、老
人保健法の施行に伴い道単独事業を改正する
理由、57年度について現行どおり実施する考
え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があっ
て民生部所管に対する質疑を終結。

② 衛生部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、

(1) 富良野市など4市町村の衛生処理組合の
運営に関し、屎尿処理施設工事発注の経過
と工事明細書不備に対する指導、浄化槽破
裂事故の原因、当該工事発注業者に対する
公共事業の発注状況

(2) 医療機関の広告のあり方に関し、休診日
の表示に「祭日」が使用されていることの
妥当性等について

関根 建二委員（社会）から、

(1) 医薬品の取扱いに関し、日本ケミファの
製造承認に係る不祥事に対する受けとめ
方、道内における同社の医薬品の取扱い状
況、道立病院における薬品購入手続、道立
北野病院及び札幌医大病院における治験薬
の取扱い状況

(2) 中国引揚者の医療従事資格取得に関し、
中国での有資格者の日本における資格資得
についての条件緩和に対する見解等につい
て

小野 秀夫委員（道政）から、

公衆浴場老人開放促進事業に対する補助に

関し、補助目的と事務事業の見直しにおいて廃止対象とした理由、老人福祉対策の観点から補助継続する必要性等について質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があった。衛生部所管に対する質疑を終結。

③ **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

関根 建二委員（社会）から、

消費者保護行政に関し、消費者運動と行政との係わりに対する見解、消費生活に係る相談件数の内容、欠陥住宅についての相談に対する対処方法、家庭の主婦・高齢者等に対する消費生活に関する知識の普及・啓発の必要性、消費生活モニターの役割と活用、苦情処理委員会の機能充実の考え、悪徳業者に対する措置のあり方、被害処理の統一的な取扱い等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部並びに企業局所管に対する質疑を終結。

④ **人事委員会所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、関根建二委員（社会）の質疑通告取下げについて報告の後、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

道職員の給与改定に関し、現時点で給与勧告の取扱いが決まっていないことに対する見解、給与勧告に対する人事委員会の基本姿勢、勧告が実施されない場合の人事委員会の存在意義、知事及び議会に対し勧告実施について申し入れをする考え等について

質疑及び意見があり、人事委員会事務局長から答弁があった。人事委員会並びに各種委員会所管に対する質疑を終結。

○12月24日（金） 午前10時52分、第1委員会室において開議、午後零時24分閉会

第1分科委員長

神本 三也（社会）

① **総務部所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、本間喜代人 第2分科委員（共産）からの本分科会への出席及び総務部所管に対する発言の申し出について委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

道職員の給与改定に係る勧告に関し、道が取扱いについて態度決定が出来ない理由、地公法第24条第3項及び第14条の解釈、道職員の生計費に対する認識、給与改定に要する経費と財源内訳、道職員の給与と民間の賃金との較差に対する見解、過去の人事委員会勧告の実施状況、労働基本権制約の代償措置としての人事委員会勧告制度に対する認識と勧告の早期実施に対する見解等について

本間 喜代人委員（共産）から、

(1) 道職員の給与改定に係る勧告に関し、勧告実施に対する基本姿勢、国の取扱いが決まった場合の対処方針

(2) 福祉5法関係の現業職員の配置に関し、各支庁に配置する考え等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があった。総務部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する委員長報告について、分科委員長に一任することをはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第 2 分 科 会

○12月21日（火） 午後7時5分、第2委員会室において開議、午後7時14分散会

第2分科委員長

水岡 薫（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に水岡薫委員（自民）、分科副委員長に吉野之雄委員（社会）をそれぞれ選出。

② 質疑方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うこと及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、山口真人委員（自民）、萩上元春委員（社会）、小田部善治委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）を選出。

④ 議席についてははかり、異議なく配付の議席

表のとおりとすることに決定。

○12月22日（水） 午後1時17分、第2委員会室
において開議、午後5時17分
散会

第2分科委員長

水岡 薫（自民）

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

(1) 北見市の美山住宅団地の分譲に関し、被害者対策委員会の構成及び活動の状況、解決案作成にあたっての被害者の意向把握と公平の確保、宅地取得希望者に対する融資対策、業者に対する行政措置の内容

(2) 分譲マンションの瑕疵に関し、苦情処理等に対する取り組み姿勢等について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

鈴木 誠二委員（社会）から、

治水対策に関し、長良川水害訴訟判決の受けとめ方、56年の豊幌地区の水害の反省点と復旧工事の十分性、本道の治水事業の現状、国の河川管理について道の意見反映の必要性、石狩川水系の河川整備の状況、小河川の改修計画の完成時期、遊水池計画の内容、千歳川放水路計画に対する取り組み姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

萩上 元春委員（社会）から、

観光振興対策に関し、観光圏別振興計画の具体的推進策、市町村の観光振興対策との連携の強化、観光振興予算の内容、道観光連盟に対する補助事業の内容、観光交通ネットワークの整備の考え、道南観光圏の開発に対する基本的な考え方、青函トンネル開通に伴う観光振興に対する積極的な取り組み方等について

工藤 啓二委員（公明）から、

観光行政に関し、経済の低成長に伴う観光の動向、最近における本道の観光入り込み客数の状況、天候及び東北新幹線・上越新幹線

の開通による本道への観光客減少と対策、年齢層別の観光誘致対策、温泉地におけるホテルの進出による商店街の不振と共存共栄について検討方、雪まつり観光のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって商工観光部所管に対する質疑を終結。

④ 労働部所管に対する質疑に入り、

萩上 元春委員（社会）から、

高年齢者の雇用対策に関し、本道における高年齢者の雇用状況と企業の法定雇用率未達成の原因及び公表の考え、未達成企業に対する指導方針、本道における定年制の現状と今後の見通し、55歳定年者の就職対策等について

本間 喜代人委員（共産）から、

季節労働者対策に関し、季節労働者の雇用及び生活実態の把握状況、積寒給付金制度の廃止に伴う新制度の内容と実現見通し等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。

○12月23日（木） 午前10時14分、第2委員会室
において開議、午後5時37分
閉会

第2分科委員長

水岡 薫（自民）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員（社会）から、

農業政策に関し、農業基本法制定以降の農業の変遷、兼業率が高くなっていることに対する見解、農家戸数の減少傾向に対する受けとめ方、農家経済の動向と経営改善対策、本道の目指す農業の方向等について

川崎 守委員（共産）から、

(1) 道南地方における土壌病害に関し、土壌病害の発生状況と原因、道の対策の内容、作付指導のあり方と農業普及所の充実の必要性

(2) 新登別市農協の運営に関し、経営及び活動の状況、養豚事業の計画及び借入金の処理に係る事実関係について調査の考え等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

長岡 寛雄委員（社会）から、

- (1) 噴火湾のホタテのへい死と貝毒に関し、噴火湾のホタテのへい死の状況と密殖との関連、道の指導と対策、貝毒の発生状況、原因究明に対する取り組み状況、ホタテの出荷基準と周年出荷体制の見通し
- (2) サクラマス資源の増大対策と密漁取り締まりに関し、サクラマスの増大対策の取り組み状況、道立森ふ化場の施設整備の早期実施方、秋サケの密漁取り締まりに対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁の後、分科副委員長から小田原要四蔵委員（社会）からの質疑通告取り下げの申し出について報告。引き続き、

本間 喜代人委員（共産）から、

海区漁業調整委員会の委員の選任に関し、本道の海区漁業調整委員会の数、学識経験委員中漁民委員の被選挙資格のある者の数、学識経験委員の選任に係る水産庁長官通達の趣旨に沿っていないことに対する見解、今後再検討する必要性等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

③ 林務部所管に対する質疑に入り、

萩上 元春委員（社会）から、

木材の需給見通し等に関し、本年の需給見通しを下方修正した理由と当初見通しの的確性、木材の需要拡大対策の内容と効果、パルプ・合板部門の需要見通し、パルプ会社の納入制限によるチップ工場の経営不振に対する対策、期末在庫量の増加に伴う明年の市況に与える影響、森林組合の決算状況・欠損金の発生原因と対策、森林組合の育成強化策、間伐材の需要拡大と販路拡張策等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

④ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、保格博夫委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）からの質疑通告の取下げについて報告の後、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 学校給食に関し、道内における学校給食

の実施状況、未実施校の実施にあたっての隘路、給食に用いるパック食品に対するチェックの必要性、第2臨調第3部会の学校給食に係る補助削減方針に対する見解

- (2) 義務教育諸学校の教科書に関し、有償化の動きに対する見解、有償化された場合の価格の見通し、無償制度存続を国に要請する考え等について

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 高校適正配置計画に関し、渡島第1学区の進学率の見通し、函館市内の新設校の規模
- (2) 障害児教育に関し、養護学校の高等部設置に対する基本的な考え方、精神薄弱児の義務教育修了後の進路について配慮する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ⑤ 付託案件の審査経過に関する委員長報告について、分科委員長に一任することについては、異議なく決定。

- ⑥ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○12月24日（金） 午後2時50分、第1委員会室において開議、午後5時41分閉会

委員長 岡本栄太郎（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

道職員の給与改定に係る人事委員会勧告の取り扱いに関し、現時点で給与改定に係る議案を提出できない理由、地公法第24条第3項の立法趣旨に対する見解、人事院勧告の実施について国に働きかける必要性、道独自の判断で給与改定を行う考え、給与問題に関する職員団体との交渉にあたっての基本的姿勢等について

質疑及び意見があり、知事から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため午後5時6分休憩、午後5時33分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議における意見

調整の結果、議案第1号について意見の一致をみるに至らなかった旨及び議案第1号について吉野之雄委員（社会）ほか7人から修正案が提出されている旨を報告の後、

吉野之雄委員（社会）から、議案第1号に対する修正案について趣旨説明の後、質疑並びに討論なしと認め、直ちに採決に入り、まず、議案第1号の修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもってこれを否決。次に、議案第1号の修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって原案可決。次に、議案第1号の修正案に係る部分を除く原案についてはかり、異議なく原案可決。

次に、吉野之雄委員（社会）から、議案第1号に関し、少数意見を留保する旨発言。

次に、議案第2号ないし第8号を一括問題とし、異議なく原案可決した。

- ④ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。

資 料

第4回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例	12. 25	12. 28	北海道条例第29号
北海道議会議員定数特例条例及び北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第30号
北海道病院事業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第31号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第32号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第33号
北海道危険物取扱者試験委員条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第34号
北海道教員養成所条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第35号

12 月 の メ モ

- 2 日 ○世界で初めての永続使用を目的とした完全置換型人工心臓の埋め込み手術が米国で成功。
- 3 日 ○中曽根首相は第97臨時国会で所信表明演説を行い、政治目標として①平和維持と民主主義の発展②文化と福祉の国日本をつくるの2点を強調。
- 4 日 ○難航の日ソ漁業交渉がトップ会談で急転合意した。漁獲割当量は5年連続同量。
○中国で建国以来4番目の憲法が施行。
- 9 日 ○小樽運河埋め立て工事が、都市計画決定から16年を経て着工。
- 10 日 ○第4回定例道議会開会
- 11 日 ○総理府は「日本国際賞」を創設、ノーベル賞に匹敵する賞に育成していく方針を決めた。59年秋には第1回の授賞を行う運び。
- 13 日 ○森林開発公団は、大規模林道事業として新たに本道の平取・えりも線の指定を決めた。既存道路を含め全長175.6km。
- 14 日 ○労働戦線統一を推進する母体となる全日本民間労働組合協議会（全民労協）が結成され、41単産、4百25万人が参加。
○米上院外交委員会は、日本の防衛力増強を求める異例の超党派決議案を全会一致で採決した。
- 17 日 ○社会党大会で平林剛書記長ら新執行部を選出。
- 20 日 ○政府は消費者米価を現行の60kg当たり1万7,033円のまま据え置くことを決めた。
○元道知事の田中敏文氏が心不全で死去。行年71歳。
- 21 日 ○ソ連アンドロポフ書記長は、欧州配備のソ連中距離ミサイルを英仏と同数に削減する、などの核軍縮提案を行った。
- 25 日 ○第4回定例道議会閉会。
○政府は経済対策閣僚会議で、58年度の経済見通しを決め、臨時閣議で了承。実質成長率は3.4%。
- 28 日 ○第98通常国会が召集された。会期は来年の5月26日までの150日間。
○道内の今年の交通事故死は583人に達し、

8年連続全国ワースト1位が確実。

- 30 日 ○政府は臨時閣議で58年度予算の政府案を決めた。一般会計予算は50兆3,796億円で、伸び率は30年度以来の低さ。
○宮様スキー生みの親大野精七札幌医大名誉学長が肺水腫で死去。行年97歳。

北海道議会時報 第35巻第1号

昭和58年3月22日発行

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第35巻第1号(昭和57年第4回定例会)